

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 3 日

事務事業名		デマンド交通運営事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	050402000292	
						単独/補助	単独		010201	
政策体系上の位置付け						主要事業		所属課	企画課	
政策体系	総合計画の施策名	0504	公共交通の充実			市長マニフェスト		グループ	企画グループ	
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり			未来PJ事業				
	施策名	04	公共交通の充実			合併建設計画事業				
	手段名	02	公共交通の維持							
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	08	03	00	公共交通事業			
法令根拠		桜川市デマンドタクシー運行事業補助金交付要綱				単年度繰返し (平成20年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>「交通弱者の移動手段の確保」及び「地域商業の活性化」を目的として、桜川市商工会が運行しているデマンド型乗合タクシー運行事業への補助を行っている。</p> <p>桜川市商工会は大和事務所内に予約センターを設置し、市内タクシー事業者から車両5台を借上げて運行、市補助金と利用券収入により運営している。</p> <p>利用できる人は、事前登録した市民のみ。運行エリアは、市内及び筑波山口バスターミナルまでとなっており、運行エリア内であれば、乗り換えなしで移動が可能である。事前予約 (利用の2日前~1時間前) により、配車を決定し、乗り合いながら目的地へ向かうシステムである。</p> <p>1乗車あたりの料金は、大人300円、中学生200円、3歳~小学生100円。ただし、岩瀬・大和地区から筑波山口へはその倍額となる。午前8時~午後5時 (最終は午後4時登) の間、1時間に1便運行している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。</li> <li>適切に補助事業が実施されるよう、補助事業者等に対し指導を行う。</li> <li>適切に補助事業が実施されるよう、補助事業の執行状況を把握する。</li> <li>デマンドタクシー関係者会議を開催し、関係者の情報共有・意見交換を行い、より利便性の高いシステムを目指す。</li> <li>市民からの問い合わせ、クレーム等の対応。</li> <li>事前登録やチケット販売等に係る事務。</li> <li>タクシー事業者との協議により、運行に係る経費を一部削減した。</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付。</li> <li>補助事業者等に対し指導。</li> <li>執行状況の把握。</li> <li>関係者の情報共有・意見交換。</li> <li>市民からの問い合わせ、クレーム等の対応。</li> <li>事前登録やチケット販売。</li> <li>運行に係る経費を一部削減。</li> </ul>	稼働日	日	242.00	242.00	242.00	242.00	242.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
市民	人口	人	41,278.00	40,483.00	40,027.00	39,571.00	39,115.00
	登録者数	人	6,200.00	6,200.00	6,200.00	6,200.00	6,200.00
	登録世帯数	世帯	3,100.00	3,100.00	3,100.00	3,100.00	3,100.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
移手段を確保できる。	延べ利用者数	人/年	16,548.00	14,083.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00
	1日あたりの利用者数	人/日	87.00	87.00	62.00	62.00	62.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	29年度	30年度	01年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	30,000	25,560	25,560	0
	事業費計 (A)	千円	30,000	25,560	25,560	0
正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)			01年度事業費 予算 (千円)		
	金額	比率	比率	金額	比率	比率
13 委託料	25,560			25,560		
合計	25,560			25,560		

(4) 当該年度の実施内容	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要事業</li> <li>市長マニフェスト</li> <li>未来PJ事業</li> <li>合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	デマンド交通運営事業	事務事業No.	50402000292	所属課	企画課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 路線バスの撤退などによる交通空白地への対応と併せて、合併後の地域公共交通事業の再編のために、新交通システムの導入を検討した。  
 平成20年度から、それまで実施していた高齢者福祉タクシー利用料金助成事業、福祉巡回バス運行(岩瀬地区のみ)を廃止し、デマンド型乗合タクシーを導入した。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 安い料金で、移動できるため、とても助かっている。という意見は多い。特に、通院機会の多い高齢者の方や、市街地から少し離れた地区に住んでいる方、親が共働きの子どもの移動に利用されている方から喜ばれているようである。 要望としては、「土日祝日も運行してほしい」、「市外まで運行エリアを拡げてほしい」などがある。 また、待ち時間や移動所要時間についての不満もある。一方で、利便性の向上は、タクシー事業者を圧迫するとの意見もある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う
---------

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	交通弱者の移動手段の確保は、市民の安全かつ快適な生活に必要な不可欠なものであり、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	交通弱者の移動手段の確保は、市民の安全かつ快適な生活に必要な不可欠なものであり、公共性が高いため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	デマンド交通システムの周知徹底をすることによって、市民の方がスムーズに利用できるようになり、利用者の増加にも結びつく。利用者の動向を分析し、今後の運営の在り方について検討していく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	他の公共交通がない現状では、車の運転ができないような交通弱者の移動が困難となる。 (一般のタクシーは利用できるが、定期的な通院等において金銭的な負担が大きくなってしまう。)
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) ) (他に手段がある場合) →	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	民間病院等が運営する送迎サービスはサービス形態が似ていることから、連携策が講じられる可能性はある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	曜日・時間帯によって、利用数に偏りがあるため、時間帯を限定した減車や、また利用者数が徐々に減少していることから、常時の減車についても検討の余地あり。事業主体は商工会であり、最低限の人員で対応しているため、削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	利用者一人あたりの費用が高いため、受益者負担の観点から、運賃や運行形態の改善を検討する必要がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	交通弱者の移動手段の確保として、デマンドタクシーは非常に有効なシステムである。タクシー事業者と協議を重ね、車両借上げに係る料金制度の一部見直しを行ったことで、経費を削減することができた。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
事前予約が必要であり、利用場所や予約状況によりタイムラグが生じてしまう。市内巡回ワゴン車の導入により、健常者がワゴン車を利用することになれば、よりスムーズな運行と車両の削減などにより予算削減にもつながると思われる。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>